

令和8年度 上武大学 大学院 経営管理研究科 シラバス

講義番号	授業科目名	ミクロ経済学演習Ⅰ・Ⅱ		担当教員	小松原 崇史		
	英語授業科目名	Microeconomics Seminars I and II		単 位	各 4	学 期	通年
対象年次	1・2年次	クラス指定	なし	他との関連			
履修条件	ミクロ経済学特論を履修していること。						
テーマ・副題	ミクロ経済学に関する修士論文の作成						
授業の教育目的・目標	ミクロ経済学に関する修士論文を作成する。						
授業の理解度の到達目標	演習Ⅰでは、修士論文作成のための準備をする。演習Ⅱでは、修士論文を完成させる。						
授業キーワード	ミクロ経済学, 市場, 競争, 価格, 経済厚生, 効率性						
授業の内容	演習Ⅰでは、修士論文の作成に向けた準備を行う。演習Ⅱでは、修士論文の作成を指導する。						
授業の方法	演習Ⅰでは、先行研究を検討する。演習Ⅱでは、修士論文の報告と、改善点を指摘する。						
授業展開	演習Ⅰでは、1年を通して(1回から30回まで)、修士論文の作成に向けた準備を行う。先行研究の理解をはかるため、毎回、重要な先行研究の報告を求める。また、論文執筆に必要となる資料を収集してもらい、それらを検討する。			演習Ⅱでは、1年を通して(1回から30回まで)、修士論文の報告と、それに基づいた指導を行う。修士論文と先行研究との違いを明らかにし、修士論文改善のための方法を検討する。			
成績評価方法	発表の内容(75%)、参加の状況(25%)により評価する。						
成績評価基準	総点において、100点~80点をA、79点~70点をB、69点~60点をCで合格とし、59点以下をDで不合格とする。						
テキスト	なし						
参考図書	N・グレゴリー・マンキュー著『マンキュー経済学Ⅰ ミクロ編(第4版)』(東洋経済新報社、2019年)を用いる。						
準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容	修士論文の作成には、多くの時間が必要となる。						
学生へのメッセージ							
オフィスアワー	授業時に連絡する。						
連絡先	電話番号	0270-32-1011		メールアドレス	online-komatsubara@sc.jobu.ac.jp		
人数制限	なし						